



消防出初式



新春恒例の当別消防出初式が総合体育館で行われ、消防団員や関係者 160 人が参加しました。式典では、功労者に対する表彰、感謝状の伝達が行われました。また、宮司町長から「住民の命と財産を守る消防の果たす役割はとて大きい。町民の信頼に応えられるよう、更なる努力を行い、災害の無い 1 年にして欲しい。」と挨拶があり、団員は身を引き締めていました。

(1月7日)

歯医者さんを体験



当別町教育委員会と北海道医療大学の連携による「小学生 1 日歯医者さん」が同大学において開催され、町内在住の小学生 13 名が参加しました。

白衣を着用した児童達は、同大学内の受付や診察室等を見学。その後、研修医や衛生士の指導を受けながら実際に歯の染め出し、ブラッシング指導、歯の詰め物実習を体験し、楽しみながら歯医者さんの仕事を学びました。

なお、終了後には全員に「子ども歯科医師認定書」が授与されました。

(1月9日)

選抜された 2 名活躍



当別中学校(中川剛校長)の柳沼沙耶さん(2年生・写真左)と室伏綾音さん(2年生・写真右)が、全道ソフトボール大会の石狩管内チーム(2チーム)にそれぞれ選抜され、柳沼さんは準優勝、室伏さんは3位の好成績を収めました。

2名は共にレギュラーで全5試合に出場。キャッチャーで4番を務めた柳沼さんは、「自分のミスで同点に追いつかれましたが、逆転ホームランを打って嬉しかったです。」室伏さんは「他の選手のレベルが高く、負けないよう頑張りました。」と話していました。

(1月16日)

広告

広告

広告

広告

介護の力とは



「当別町でのふくしのまちづくり勉強会」の第2回目が北海道医療大学で開催され、130名が参加しました。テーマは「できないをできるに変える」。講師にはフリーキャスターとして活躍している町永俊雄氏を招き、「福祉の仕組み・人々の意識・地域・社会を変えることが必要。支援する人・される人の関係から、共にその地域に暮らすという同じ方向・目線・立場に立ち共生社会をつくること」と現代社会の課題から福祉について講演があり、参加者も自身が取り組める福祉について考えました。
(1月18日)

みんなで協力



当別町社会福祉協議会をはじめとする町内外の団体や有志による除雪ボランティアが一人暮らしの高齢者や障がいがある方の世帯を対象にベランダ、玄関付近の除雪を行っています。
末広団地で除雪作業にあたったのは、サッカー少年団ジュニアユース、北海道医療大学ボランティア、(株)日栄建設(札幌市)の総勢30名。
大雪の影響により、屋根の近くまで積もった雪に苦戦しながらもスコップで手際よく排雪し、作業を終えました。
(1月19日)



広 告

広 告

広 告

広 告